



広島市 公共施設の

再編

統廃合

再配置

計画を発表

日本共産党

市議団

ニュース

NO.79

2017年1月29日

発行 日本共産党広島市会議員団

広島市中区国泰寺町1-6-34

TEL 082-244-0844
FAX 082-244-1567



公共施設は市民の「財産」「まちづくり」の基本 拙速に決めず 住民自治の原則を貫くべき!

広島市は昨年末、市が所有する3321の公共施設のうち146施設を対象に、ハコモノ資産の特性に応じて、廃止・移転・複合化・他の自治体との連携・民間移管・民間活力の活用などの見直しを行う「公共施設等総合管理計画」(平成29年度～平成38年度までの10年間)を発表しました。〈裏面参照〉

管理計画を策定した理由

①広島市の公共施設は政令指定都市へと移行した前後の昭和50年代に整備され、整備後30年から50年の期間が経過し、施設の老朽化により近い将来、一斉に更新時期を迎える。

②施設の整備当時と比べ、現在の市民ニーズが変化しており、人口構造の変化も踏まえて施設のあり方を見直す必要性に迫られている。

③今後40年間の更新・大規模改修費用の推計額は、総額で約1兆8981億(年平均は約474億円)に上る。平成24年度のハコモノ資産の更新・大規模改修に充てられた決算額271億円と比較すると、毎年、約203億円が不足するため、施設の修繕費や更新の需要に対応できない。

見直し対象施設の選定基準

- 災害により施設機能に重大な支障が生じている施設
- 提供している機能・サービスと市民ニーズに齟齬がある施設
- 広島市の中枢性強化や地域活性化にむけて新たな施策展開が必要な施設

管理計画の方針

◆ 適切な点検を実施し「建物カルテ」を作成、劣化を見越した予防的な修繕や改修により突然の施設破損による人的被害を回避する。

◆ 設置目的が異なる施設でも、提供するサービスが類似する施設や同種の諸室を持つ施設など、同様のサービスが重複しているハコモノ資産の最適化を図る。

◆ 市民ニーズが高い機能・サービスを追求し、市民の満足度の高い施設体系を構築する。

◆ まちづくり等との整合性を図りつつ、利便性の高い最適な場所へと再配置する。

◆ 施設の複合化、近隣市町や県との連携、民間移管、民間活力の活用を進める。

今後の取り組み

● 公共施設等総合管理計画を進めるにあたり出前講座など市民に周知し意識の共有を図り、利用者、市民の声を十分に聴きながら進める。

● 「公共施設等マネジメント会議」を庁内に設置し企画総務局が区役所との連携のもとに全体調整を図る事務局を担う。

広島市に「出前講座」の開催を求め
地域の声意見を届けましょう。

ハコモノ資産とは

文化・教養、コミュニティ、スポーツ、リクレーション、子育て・教育・青少年育成、福祉、病院、住宅、交通、火葬上・墓地などのサービスを提供するための機能が付与された施設のこと。

企画総務局
分権・行政改革推進課
TEL 504-2064

連絡先